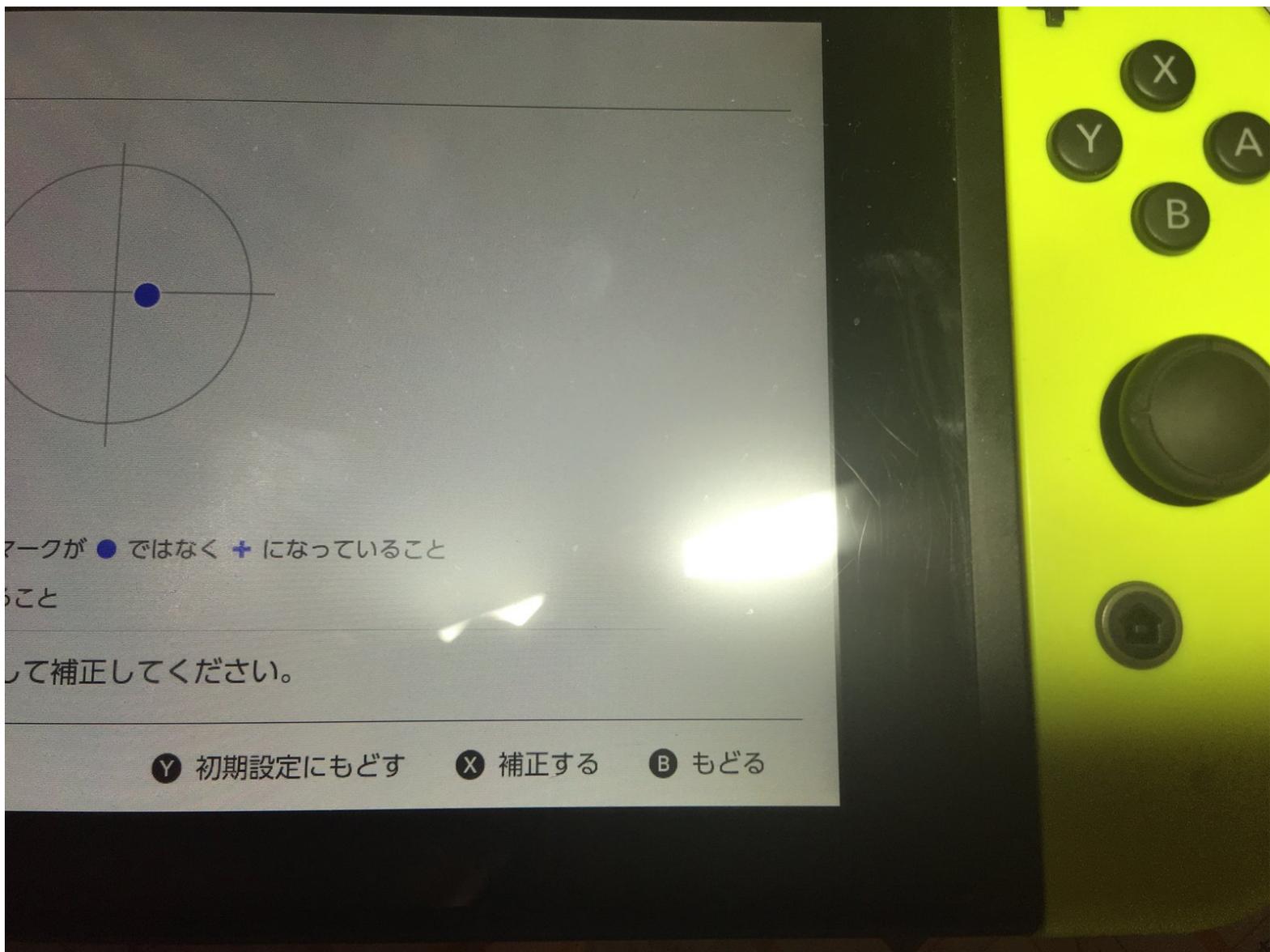




How to fix Nintendo Switch Joy-Con_Drift

ジョイコンの誤動作(ドリフト)を交換ではなく、分解して異常動作を解消する。(ジョイスティックにはいくつかのバージョンがあります。Ver1,Ver2)

作成者: syusan



はじめに

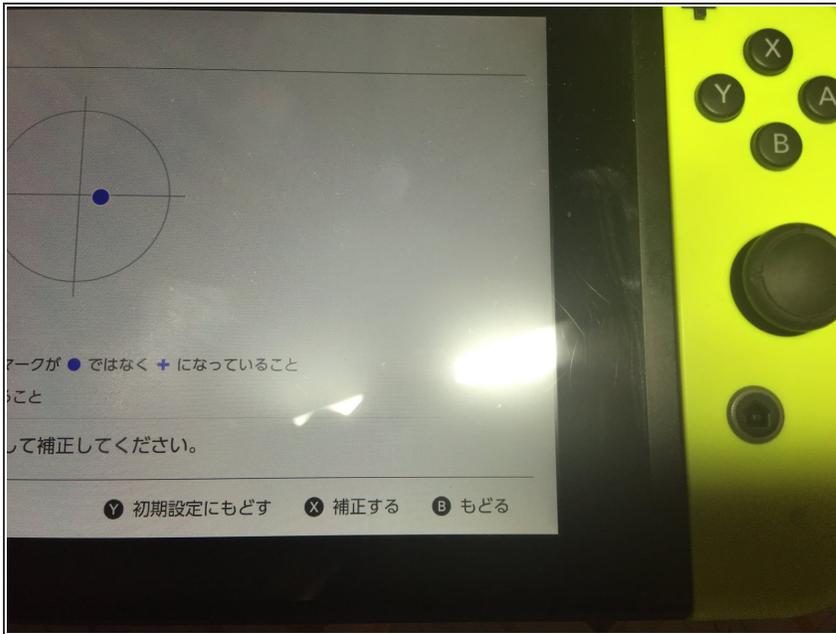
清掃でドリフト解消！

あの悩ましいNintendoSwitch Joy-Conのドリフト(定位置に戻らない現象)を分解清掃で直ります

ツール:

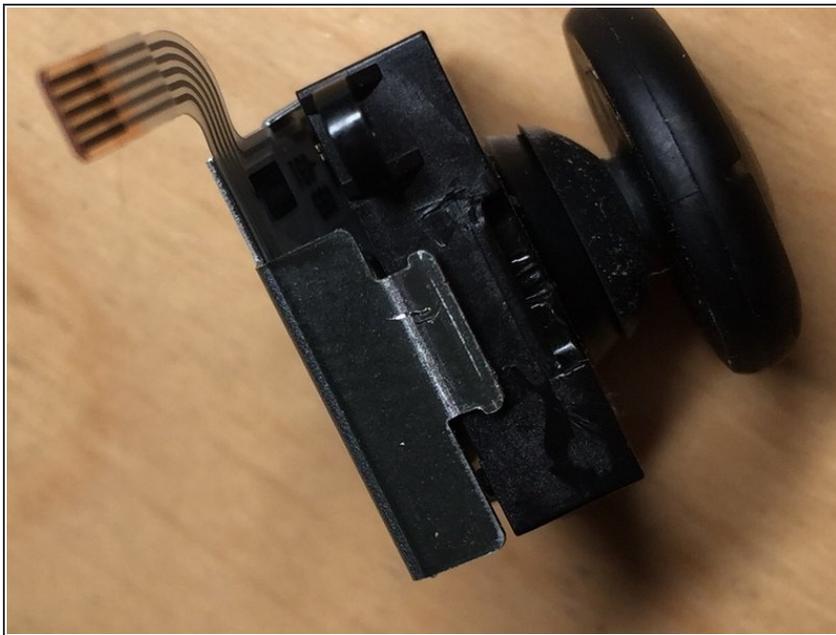
- Cottonstick (1)
- 2.5 mm マイナスドライバー (1)
- ピンセット (1)

手順 1 — 作業前の状態



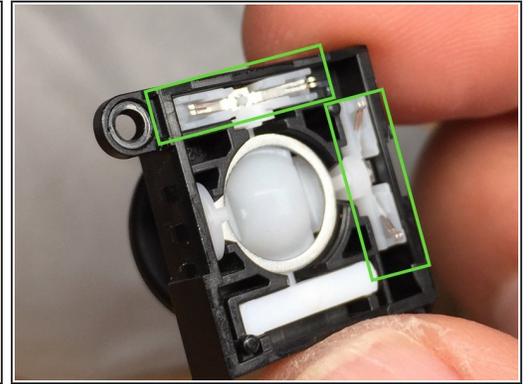
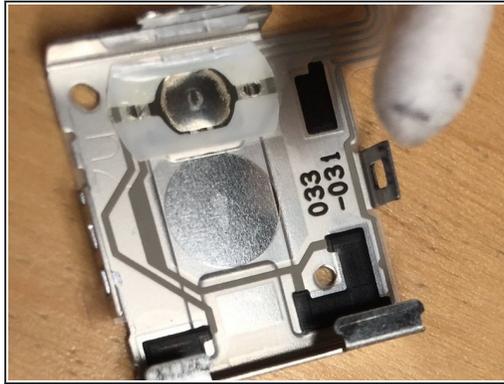
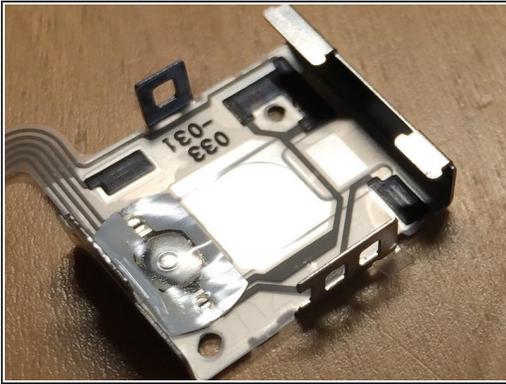
- ジョイスティックに手を触れなくてもマークにならず"・"マークになってしまいます。

手順 2 — Ver1



- ジョイスティックの横にある金属製の爪を起こします。この部分は元に戻そうとした時に金属疲労で壊れるでしょう。

手順 5 — Ver1



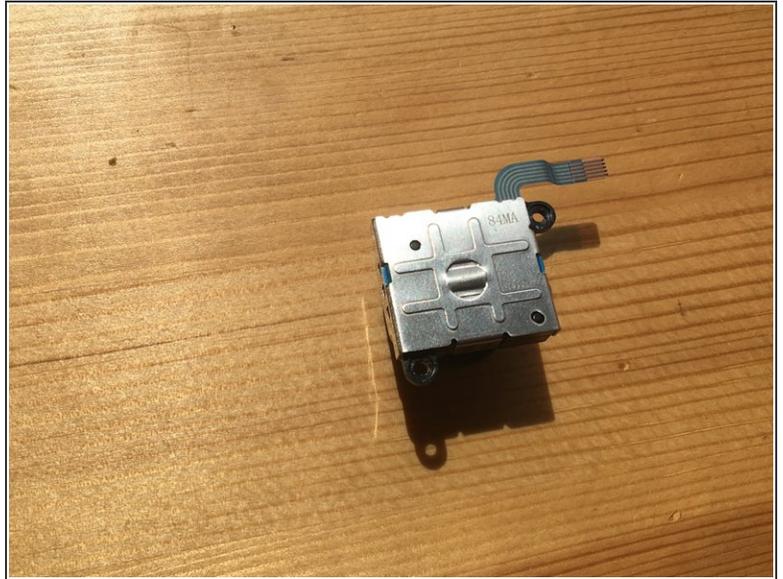
- つや消し黒の部分でツヤがある部分を綿棒で清掃する。*銀色の接点との抵抗値(黒い部分)の変化が位置情報で読み取られます。

手順 6 — Ver1



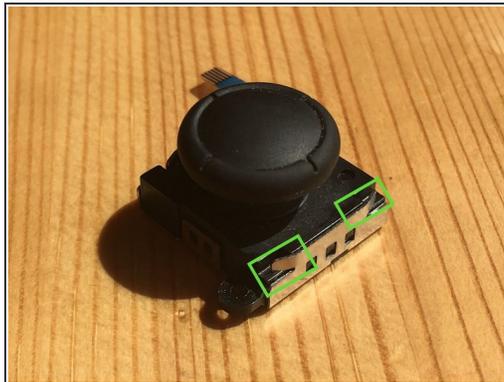
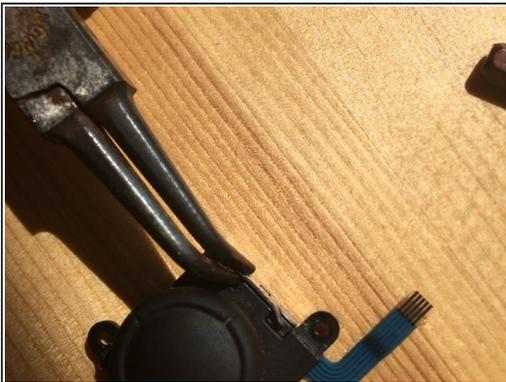
- 再び金属パーツをスプリングと白いプラスチックパーツを元の位置に戻し、Joy-conに取り付けます。(写真に写っている金属の爪は、元に戻そうと試みたら折れてしまった。)

手順 7 — Ver2



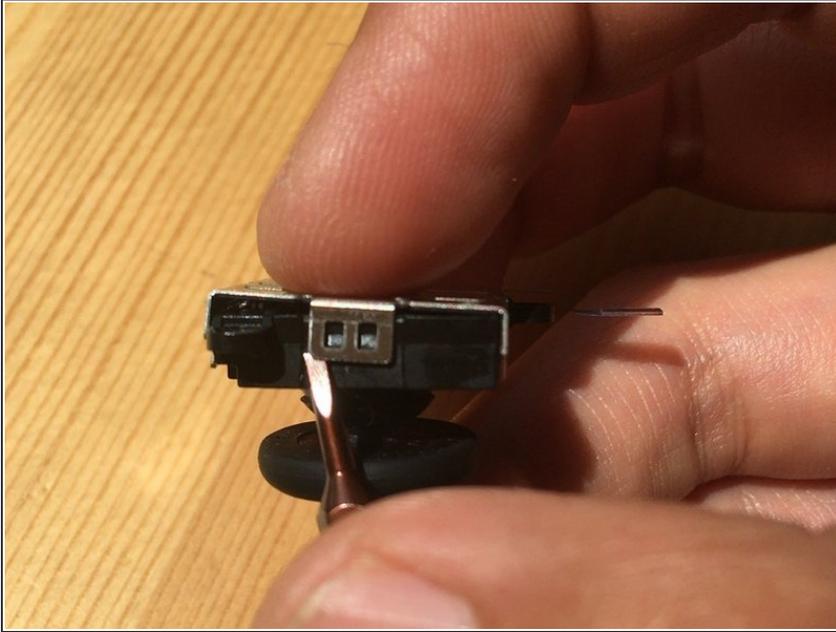
- 金属のプレス形状が違います。

手順 8 — Ver2



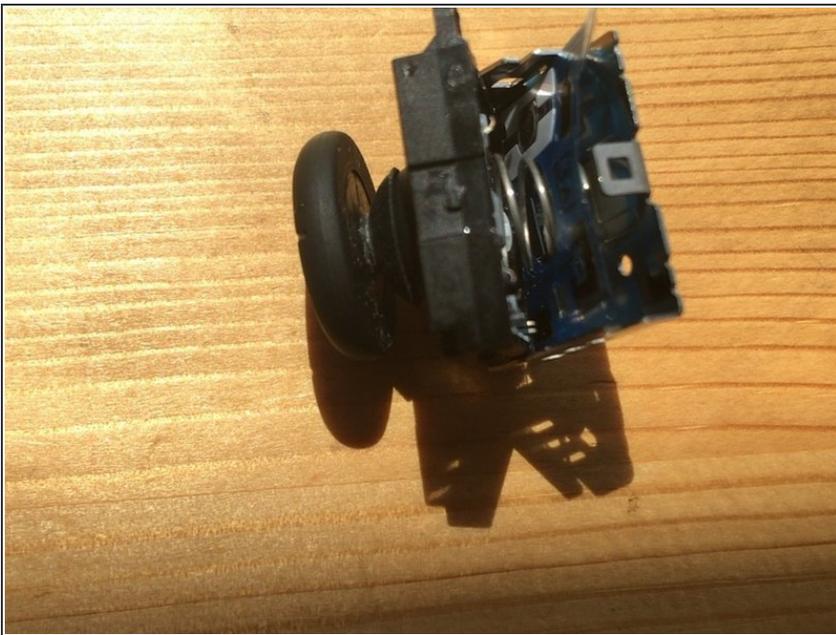
- 先が細いラジオペンチを使い折り曲げたヒンジ部分をまっすぐに戻す。

手順 9 — Ver2



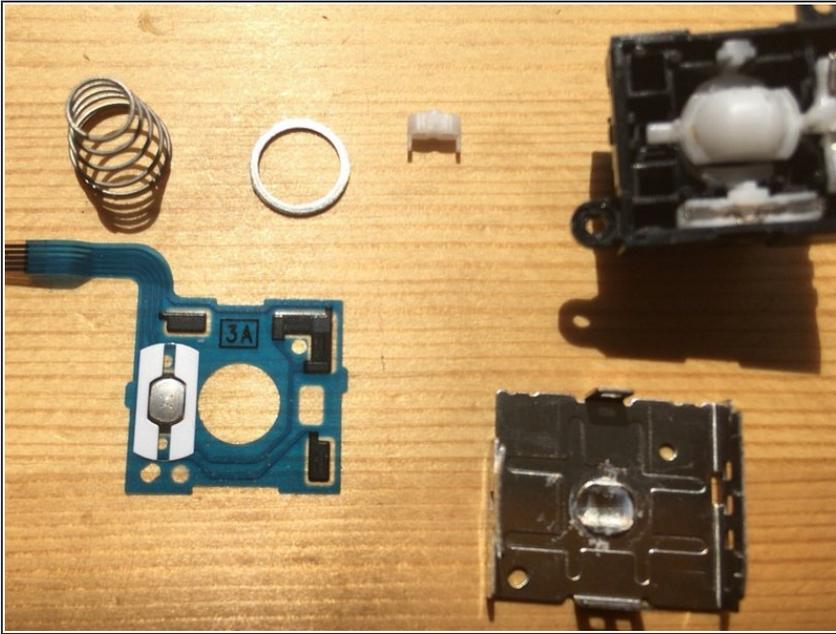
- 精密ドライバー(マイナス)を使い爪を起こしながら外す。
- 変形させずに、金属の弾力を残したまま外す事

手順 10 — Ver2



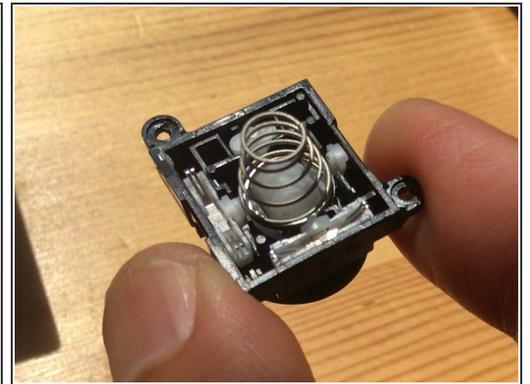
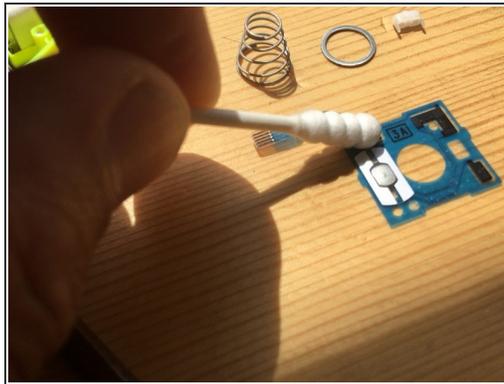
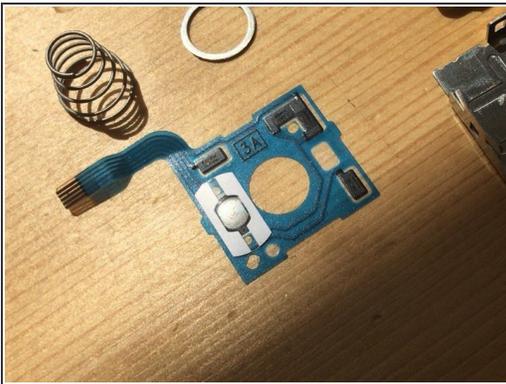
- ドライバーをゆっくりと入れ金属フレームを外す。スプリングがあるので注意

手順 11 — Ver2



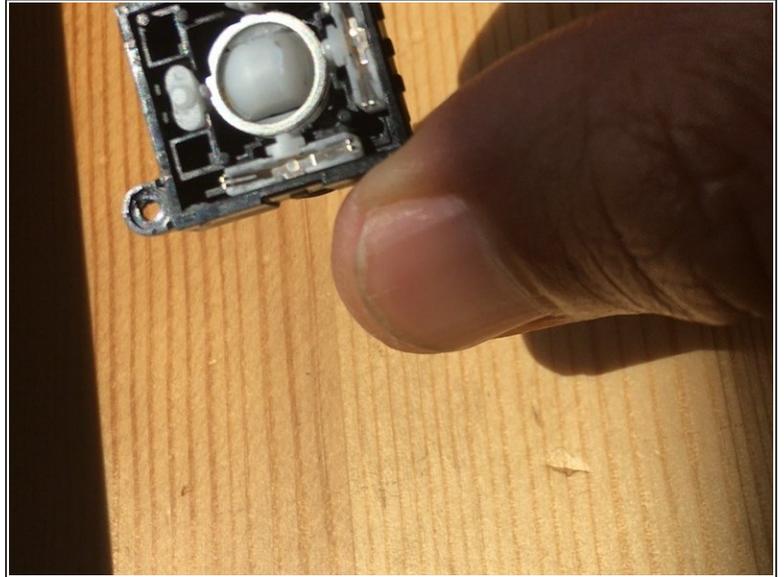
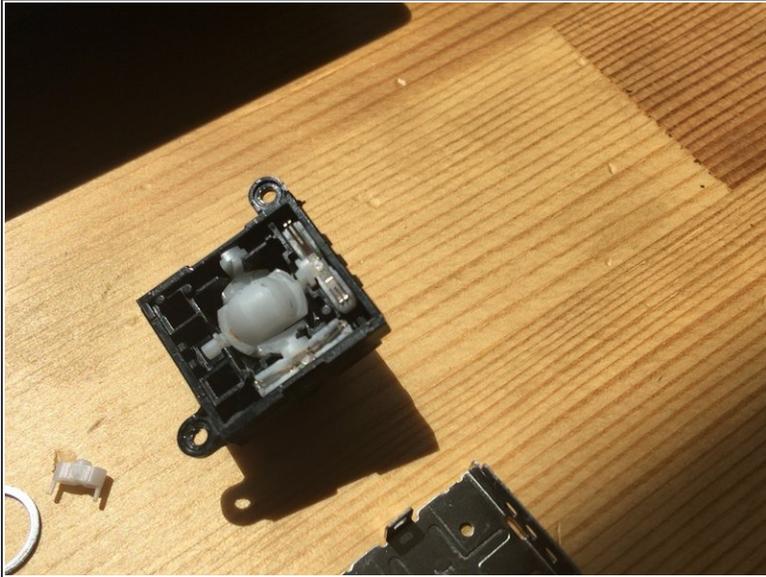
- 分解したパーツスプリング、メタルワッシャー、押し込みボタン用パーツ、フィルム状基板、金属フレーム
- 金属フレームはグリスが塗られているので、ここは掃除しない事。(ここを拭くとプラスチック粉が発生する。)
- 予想だが、純正のジョイスティックではない場合グリスが塗られていない場合があるかもしれない。その場合はグリスがあれば塗ることをお勧めします。

手順 12 — Ver2



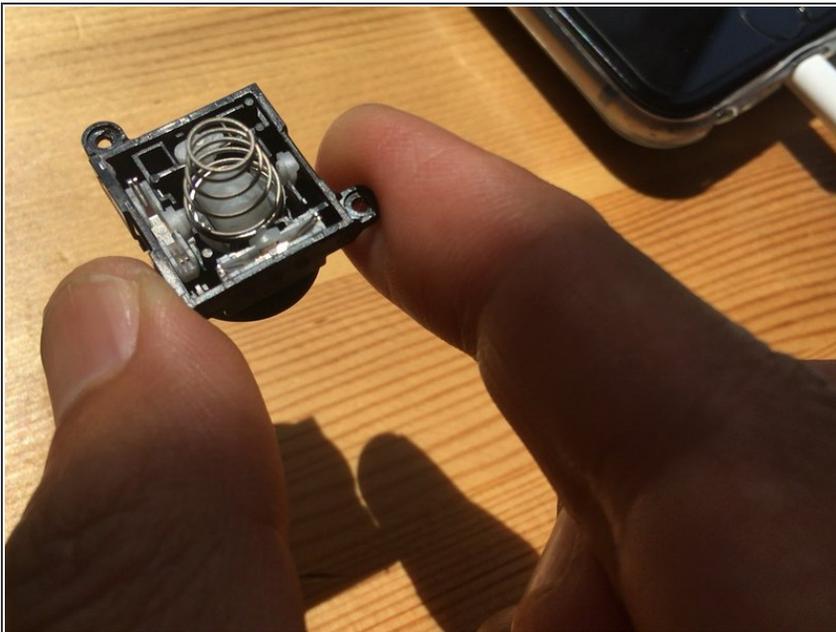
- 黒い部分が抵抗値を読み取るセンサー。ここにライン状の光沢があるので綿棒を使い清掃する
- 注意金属端子部分はアルコールをつけた綿棒で拭く。簡単に折れ曲がるため注意。

手順 13 — Ver2



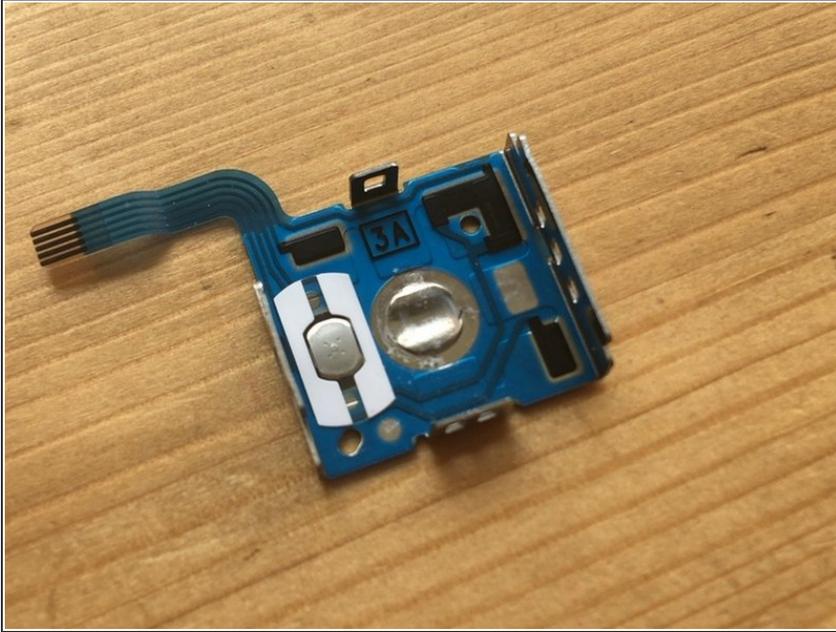
- ワッシャーとボタン押し込み部分をピンセットを使って取り付ける。

手順 14 — Ver2



- スプリングをワッシャーに乗せる

手順 15 — Ver2



- 金属フレームにフィルム状基板を乗せる。爪が二箇所あるので位置を確認して乗せて下さい。

手順 16 — Ver2



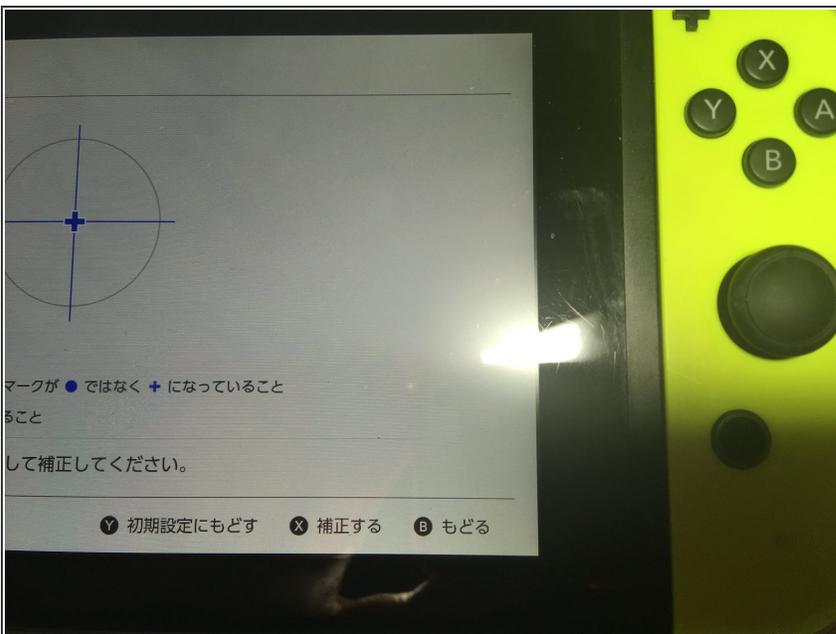
- はじめにラジオペンチを使った部分は何もしなくても外れないので次に分解する時に外しやすくするためにこのままにしておきましょう。

手順 17



- 戻す時にプラスチックパーツで金属フレームが固定されるため、動作の支障にはなりません。
- 写真はVer1のもの

手順 18 — 作業後の写真



- ジョイスティックの動作が元どおりになりました！

お手元のデバイスを再組み立てするには、これらの手順を逆の順序で行ってください。